

広報あんな

平成7年8月15日発行(No.180) 恩納村役場 総務課 TEL(098)966-8006



国頭方西海道「仲泊地区」を 歴史国道として整備

歴史民俗資料館・琉球松の並木 文化の香る恩納村

- ◆恒久平和を願う 平和の礎
- ◆恩納区体協バレー ボール女子 20年連続優勝
- ◆うんなまつり 15,000人がフィーバー
- ◆松田豊太喜さん少年栄誉章を受章



青と緑の豊かな活力ある村

行事予定

9月	
11月	●集団リハビリ(リハビリ室) 午後2:00~4:00
12月	
13月	
14木	●集団健診(塩屋)／午前9:00~11:00 ●定例議会 敬老の日
15金	●老人保健福祉週間～21日
16土	
17日	●集団健診(もれ者)／コミュニティーセンター 午後9:00~11:00
18月	
19火	
20水	●集団健診(宇加地)／午前9:00~11:00
21木	●2歳児歯科検診(コミュニティーセンター)／午後1:30~2:30 ●開放リハビリ(リハビリ室)／午後2:00~4:00
22金	●風しん(幼児)
23土	秋分の日 ●第4土曜日 ●村伝統芸能祭
24日	
25月	
10月	
1日	●陸上競技大会(村体協)
2月	
3火	
4水	
5木	●開放リハビリ(リハビリ室)／午後2:00~4:00
6金	
7土	●風疹予防接種(中学生男女) コミュニティーセンター／午後2:00~4:00 ●村P球技大会
8日	
9月	●40歳からの健康週間～15日
10火	体育の日

善意ありがとうございます

恩納村奨学基金

有限会社 福地組 50万円 嘉手納町水釜112番地

行方不明者をさがす 相談所開設中

あなたの身内で家出その他の理由で行方が分からなくなっている方はいませんか。音信が途絶えて生死が分からない方はいませんか。

石川警察署では9月1日～30日を行方不明者等捜索強化月間と定め、地域の皆さんの「ご家族をさがす相談所」を開設しています。

石川警察署 ☎964-4110
刑事課鑑識係(内線32) 生活安全課(内線35)

9月は 「障害者雇用促進月間」です

障害をこえる努力育てる企業

公共職業安定所では、障害者の就職を促進するための求人の確保ときめ細かい職業相談・職業紹介を行っております。就職を希望し、まだ安定所で求職申し込みされていない方は早めにご相談ください。

また、事業主が障害者を雇用する場合は、各種援助制度がありますのでご活用下さい。

沖縄職業能力開発短期大学校

～平成8年度学生募集要～

職業能力開発促進法に基づき、労働省所管・雇用促進事業団が設置運営する2年生の工科系の短期大学校です。

産業界のマイクロ・エレクトロニクスを中心とする技術革新に対応できる、幅広い職業能力をもつ実践技術者の養成を目的としています。

募集科及び募集定員

制御技術科 30名 電子技術科 30名 情報処理科 30名
居住環境科 30名 物流情報科 30名

推薦入試

- 1 募集人員：各科15名程度
- 2 推薦条件：高校における学業成績の評定平均値3.5以上で平成8年3月卒業見込みの者。
- 3 入試日程：願書受付期間：平成7年11月1日(水)～10日(金)
試験日：平成7年11月17日(金)
合格発表：平成7年11月30日(木)
- 4 選考方法：書類審査、学科試験(小論文、数学1)、面接試験

一般入試

- 1 入試日程：願書受付期間：平成8年1月10日(水)～23日
試験日：平成8年2月6日(火)
合格発表：平成8年2月23日(金)

2 試験科目：数学(数学1、基礎解析の範囲)、外国語(英語1の範囲)

問い合わせ先

沖縄職業能力開発短期大学校 学務課
所在地 沖縄市池原2994-2 電話番号 934-6282

国頭方西海道「仲泊地区」

歴史国道として整備

建設省の「歴史国道整備事業」に国頭方西海道「仲泊地区」整備事業対象区域が選ばれ七月十二日に、総合事務局において選定証交付式が行われ玉城一夫沖縄総合事務局长から、同地区整備推進協議会の会長である比嘉茂政村長に選定証が手渡されました。

歴史国道は歴史的に重要な幹線道路として利用され、歴史的文化的価値を持つ道路を対象に、その保存、復元整備、活用を図るのが狙いで全国で十二ヵ所、沖縄県から唯一、同地区が選ばれました。

歴史・文化を軸とした地域づくり

「道」は、人と人、地域と地域の交流を支え、文化の交流・伝達の上で大きな役割を果たし、時代の流れとともに、その姿を変えてきました。琉球王府時代の文物や人々の交流の舞台となつた「国頭方西海道」も、地域の歴史を理解する上できわめて大切な意味をもつものであります。

沖縄県下で現存する唯一の「真栄田・仲泊の一里塚」や伝説に残る「フェーレー岩」そして、「護佐丸の生まれた山田スクと山田の古集落」「山田谷

川に架かる石杠」「旧久良波集落」さらに、「薩摩侵攻時、戦いの場になつた」という伝説の地、比屋根坂の石置など歴史を知るうえで極めて貴重な文化財が点在しています。

「道」は、その存在そのものが、現代の人々にとって貴重な文化遺産であり、適切に保存し、可能な限り復元することにより、時代を超えた新たな文化的創造の場となり得ると考えられます。

また、歴史的な遺跡、その周辺で行われている祭り、イベント



民俗資料館・琉球松の並木

文化の香る恩納村

仲泊遺跡の周辺には山田グスクや薩摩軍との戦いの伝説が残る比屋根坂の石畳や、その上の台地には地元の人々が「イユミバンタ（魚の群れを見る）」と呼ぶ場所など歴史的な遺産が数多く残されています。

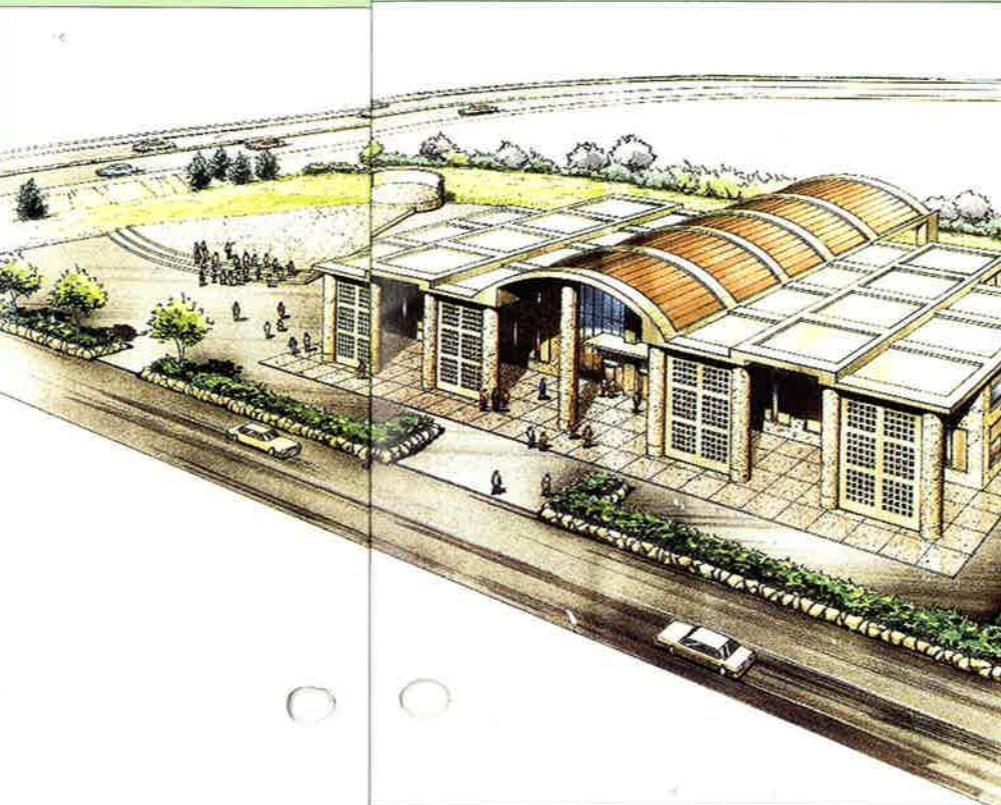
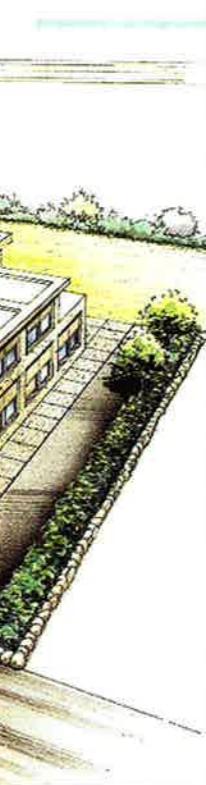
国頭方西海岸「仲泊地区」が歴史国道として整備されることで同地区に本村が構想を進めている歴史民俗資料館（仮称）を中心とする仲泊歴史公園と昔ながらの琉球松の並木がうまく調和し、歴史、文化、を軸とした恩納村のあらたなシンボルが形成され、沖縄本島中南部とやんばるを結ぶ拠点に発展することが期待されています。

歴史 文化的拠点

行政サービスのサブセンターとして

恩納村民俗資料館は、本村の各地に存在する文化財や伝統文化、芸能とその基盤となる風土を保存・継承し、新しい地域文化の創造へと発展させる活動の場となる施設でなければなりません。

また、海岸線にそつて細長い本村の地理的特性を踏まえ、単に資料の展示公開と情報サービスの提供の場に限定せず、資料の収集保存、調査研究、教育普及など資料館の基本的な活動を展開する一方、住民のための行政サービスのサブセンターとして



東海道・御油宿
愛知県豊川市御油町

御油の松並木の愛護活動から 生まれた資料館で 地域活性化

松並木祭りを計画

旧東海道の中で、江戸時代の面影を最も色濃く残すといわれる「御油の松並木」は、太平洋戦争末期の昭和19年に国の天然記念物に指定され、木造船の材料や燃料として伐採されることを免れました。

しかし、昭和34年の伊勢湾台風を境に樹勢が衰え、そのまま放置すると消滅してしまう恐れがありました。

長い間、守り続けてきた松並木をなんとしても保存しようと、「松並木愛護会」が結成されたのは昭和47年。御油の町民のすべてがその会員となり、600mに渡って続く松並木の下草刈りや清掃、補植などを続けてきました。現在は、100年以上の古木が90本、補植松が250本、総数340本余りの松並木となっています。

こうした松並木の愛護活動を通じ

て、町民は東海道五十三次の真ん中にあたる宿場町・御油の歴史に関心を持ち、それが「御油の松並木資料館」の設立に結びついていきました。完成したのは、昭和63年。建物は、市の予算でつくれられました。

資料館という拠点ができて、松並木の愛護活動はより活発になりました。「松並木祭り」などのイベントを定期的に実施していく計画もあります。



恩納村民俗資料特別展 沖縄戦に関する写真も展示

去る大戦で多くの貴重で重要な文化財を消失、県民も祖国復帰するまでの27年間、多くの苦悩を強いられてきました。しかしながら、県民は、その中にもあって、戦火のがれきの中からいち早く前代の文化遺産を拾いだし、その保存活用に努めてきました。

恩納村では、平成元年度の「ふるさと創生資金」を活用して歴史民俗資料約8,000点

を購入しました。これらの資料の中から、主に民俗に関する資料を約100点を展示して、恩納村民俗資料特別展が8月3日から5日間、コミニュニティーセンターにおいて開かれました。

また、会場では戦後50周年の今年、あらためて平和の尊さについて学ぼうと沖縄戦に関する写真の展示やビデオの放映も行われました。



和平久重

を願う 平和の礎～

る大戦では、ここ沖縄で国内ではもとより非戦闘員である子供民の尊い生命を奪いました。遺争の傷跡はいえることはあります。私たちの平和な社会が築かれたの犠牲の上に成り立っています。後50周年の今年、平和の礎に刻て永久平和について考えてみま

恩納保育所が完成

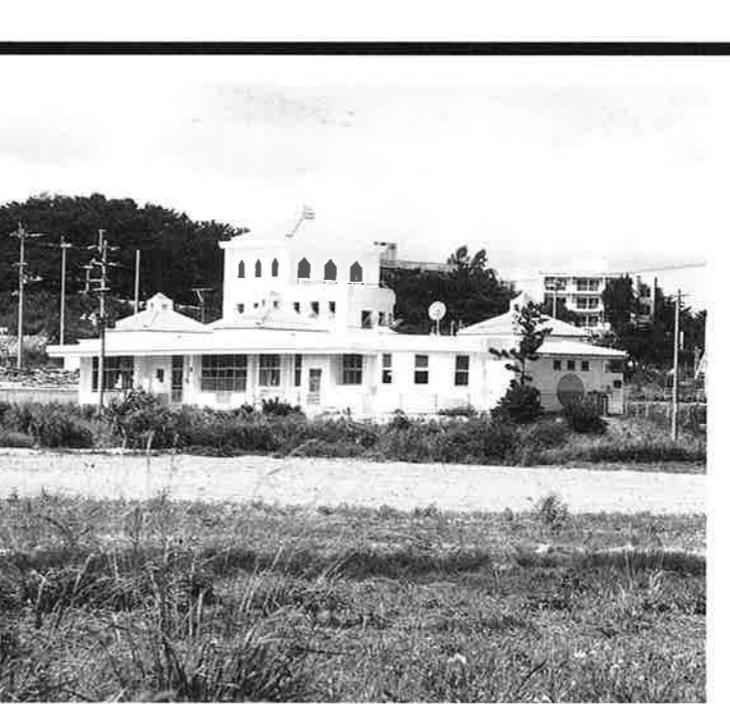
現在本村には安富祖、恩納、山田の3ヵ所の村立保育所（職員数27人）があり、160人（2歳未満児76人、3歳未満児41人、4歳43人）の幼児が在籍しています。

近年、児童の保育施設は幼児教育の高まりとともに、単なる福祉施設としての枠組みだけにとどまらず、学習機能の付加などの多機能のニーズが要求されています。

恩納二二八〇番地に、新築工事を進めてきた恩納保育所が

このほど完成し、6月30日に園児や父兄、関係者が出席して開所式が行われました。比嘉村長や園児の代表のティーチャットのあと、さっそく真新しい保育所に入り、園児たちは歌やお遊戯を参加者に披露し新しい保育所の完成を歓んでいました。

園児たちは比嘉村長からの「新しい保育所が完成しました。良かったですね」の呼びかけに元気な声で「ハーハー」と大きな声で答えていました。



夏の交通安全運動

飲酒運転の追放、若年者の交通事故防止などを重点目標とした夏の交通安全県民運動が7月21日から30日まで実施され、期間中村内では様々な啓発活動が行われました。

7月24日の街頭キャンペーンには石川警察署長も参加し、瀬良垣区の国道58線沿いに沿いに走ろう、うんなむら」と書かれたキーホルダーも配られました。

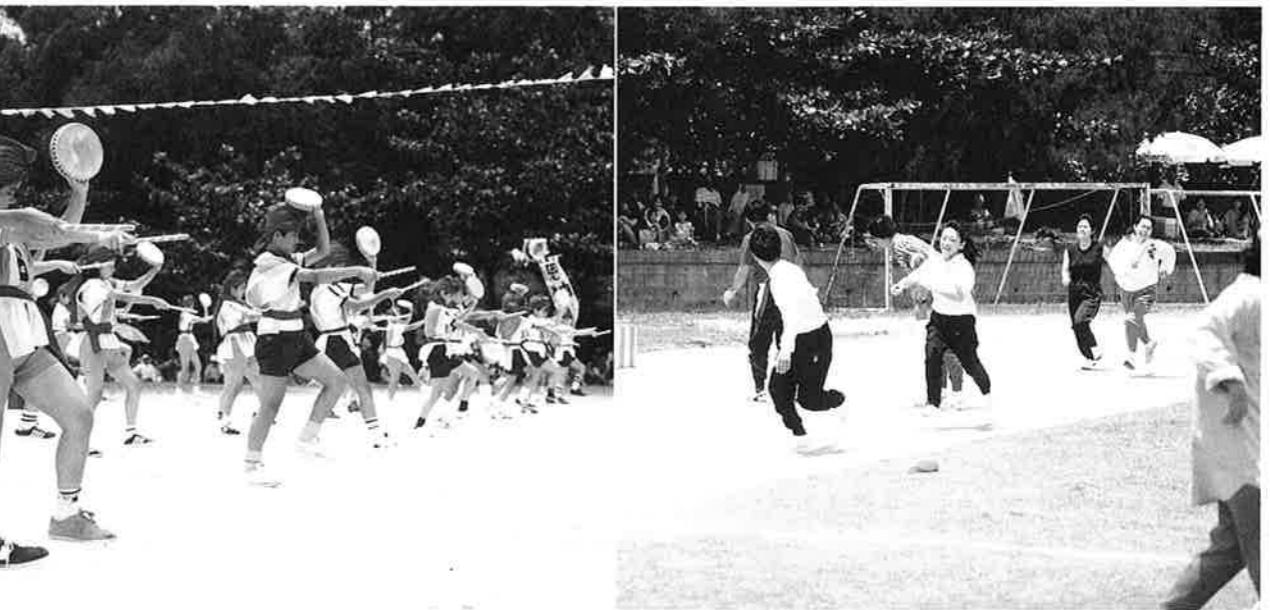


7月2日、村内の各学校では天候にも恵まれ運動会が行われました。

エイサーに空手、かけっこに親子リレー、全員参加の綱引きと元気いっぱい演技を披露していました。

子ども達や参加した家族は真夏の太陽のもと一日を満喫していました。

各学校で運動会



各競技の結果は次のとおりです。

バレーボール競技

[男子]	優勝：恩納
準優勝：前兼久	
3位：塩屋	

[女子]	優勝：恩納
準優勝：南恩納	
3位：山田	

バスケット競技

[男子]	優勝：仲泊
準優勝：瀬良垣	
3位：恩納	

卓球競技

[男子]	優勝：仲泊
準優勝：塩屋	
3位：瀬良垣	



▲8年連続優勝の仲泊区体協

バレーボール女子 恩納区体協が20年連続優勝



▲卓球競技は年令別の団体戦で行われた



▲準決勝、仲泊対恩納、仲泊が後半リードをひろげる



白桃に巨峰 岡山の物産



子ども達もあやめバンドとカチャーシー



ティダカンパニーの一三さん地元、仲泊代表の浜元さんを必死で応援



「魚のつかみどり」中には1メートル大物が



恩納村芸能のタベ山田区の獅子舞

第12回うんなまつりが、7月29日、30日、コミュニティーセンターの周辺を会場に盛大に開催されました。

恩納中学吹奏楽部のオープニング演奏の日程がスタートしました。

会場には50件の出店が立ちならび、なかの幸には多くの人がきができていました。

会場いっぱいに繰り広げられたイベント夜を過ごしていました。

なか、テープカットが行われ2日間のまつり

でも大ナベによる牛汁、漁業組合の新鮮な海

に参加した人たちも大満足。楽しい夏のひと



さあ、祭り本番



壁画コンテスト 子ども達が思い思いに絵筆をはしらせた



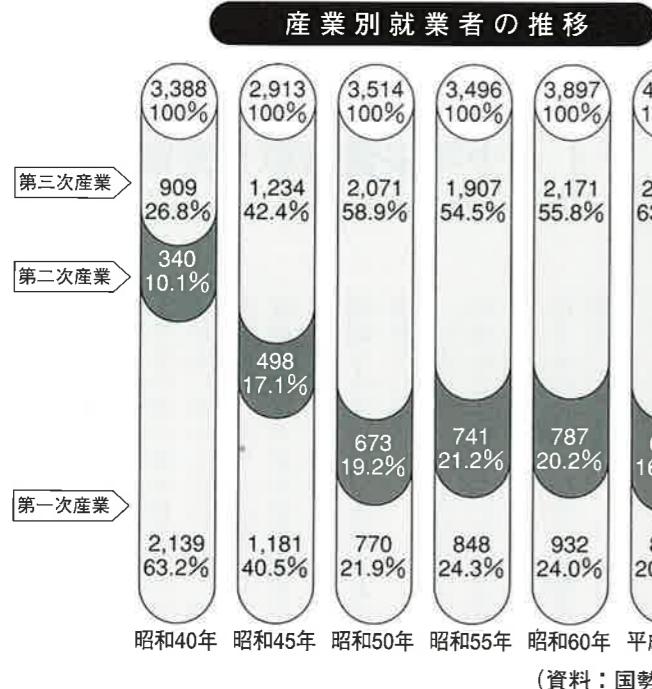
プロ顔負け塩屋区の「やんでいバンド」



10 まつりのフィナーレを飾ったゲンちゃんコンサート



21世紀を考える土台にします。10月1日国勢調査



グラフは15歳以上の産業別就業者数の推移を表したもので、昭和40年には第1次産業が63%以上を占めていましたが、平成2年にはわずか20%となっています。なかでも、農業就業者は昭和40年の2,113人から平成2年には774人にとどまっています。第2次産業はゆるやかな増加をとどめています。第3次産業は順調な伸びを示しています。なかでもサービス業は昭和40年の455人から平成2年には3.4倍の1,534人となっており、全国的な傾向ではあるが本村では観光関連施設の増加も大きく影響していると思われます。

豊かな社会福祉のために
国勢調査は児童福祉や社会福祉、高齢者福祉などの施策の基礎資料となる父子・母子世帯、一人暮らしの世帯などの統計を地域別に提供します。

住みよい村づくりのために
環境問題への関心が高まるとともに、各地で住みよい村づくりに向けた取り組みが進められています。国勢調査は、市町村全体の結果だけでなく、もっと小さな地域単位の人口や世帯の統計をきめ細かく作成して、生活環境整備のための基礎資料を提供します。

経済計画の策定のため
国勢調査から得られる男女、年齢別の就業者数、産業別や職業別の就業者数などの統計は、経済計画の策定のための資料として利用されます。この他、調査から得られた結果は、平均寿命の計算や人口学、社会学、経済学、地理学などの学術研究をはじめ、会社や団体においても製品の需要予測など一般に幅広く利用されています。

Q **A** ▶ 調査期日はなぜ10月1日？

冬期は、積雪の深い地方では調査は困難で、反対に夏期は高温多湿のため、春は旅行などで移動が多く、調査に適しません。そこで、比較的人口分布・経済活動や気候が落ち着いている秋の、それも1年度の半分を経過した10月1日が最も適当だということになりました。

国勢調査はどのように調査するのか

国勢調査は、10月1日現在で行われます。市町村長の推薦によって総務省長官から任命された国勢調査員が9月23日（土）から10月8日（日）間に各世帯を訪問して調査票の配布、回収を行います。また、調査は10月1日現在日本国内にふだん住んでいるすべての人を、ふだん住んでいる所で行います。国内に住んでいる外国人も、国籍に関係なく調査の対象となります。



国勢調査についての詳しいことは企画課統計係（宣志富）966-8006内線207番までお尋ねください。



です。行政を進めるうえではなくてはならない、さまざまな角度からの人口・世帯についての統計として取りまとめた国勢調査の結果は重要な資料となります。

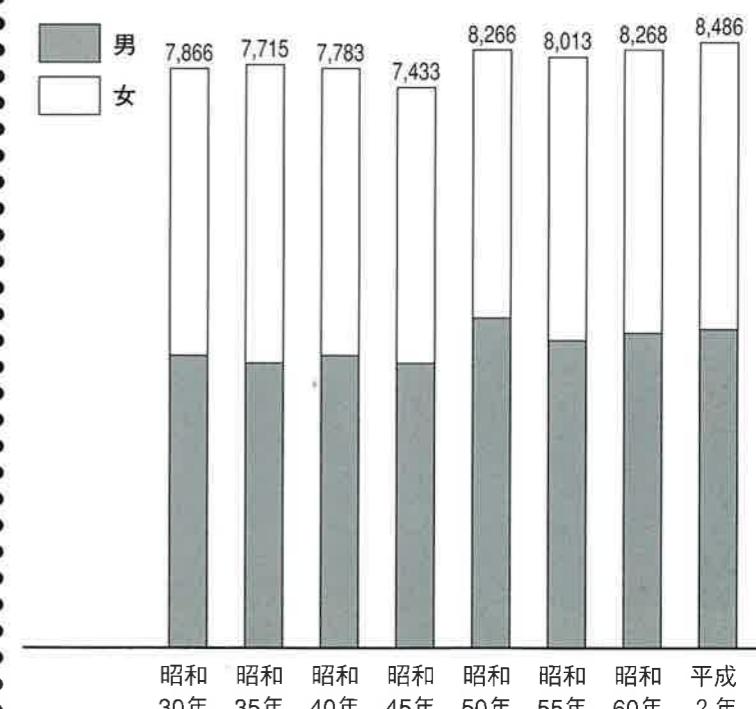
**なんだろう
国勢調査**
国勢調査は、大正9年の第一回調査から数えて16回目、戦後50年目の調査に当たります。全国、都道府県、市町村の人口や世帯の実態を明らかにし、国や地方公共団体のさまざまな行政施策の基礎資料として利用されます。

国勢調査の結果はどのように利用されるの
法律に基づく利用
国勢調査から得られた人口などを用いてることを定めている法律があります。主なものは地方自治法、地方交付税法、都市計画法などです。主なものは地方自治法、地方交付税法、都市計画法などです。

行政施策への利用
国勢調査は、決められた日までに市町村へ提出され審査されます。その後県でも審査され、総務省統計センターで取りまとめられ皆さんに公表されます。

今年は5年ごとに行われる国勢調査の年。10月1日現在で全国いっせいに調査が行われます。この国勢調査は、どんな意味があり、どのように利用されるのでしょうか。国勢調査の意義をご理解いただき、調査へのご協力おねがい致します。

国勢調査人口の推移



平成2年の国勢調査の人口は8,486人で昭和30年の7,866人で34年間で620人の増加したことになります。また、別の国勢調査の資料では昭和35年の14歳以下の人口は全人口の44%で平成2年には21%まで減少しています。この傾向は出生率の低下と老齢人口の増加（昭和35年9%～平成2年15%）が原因で、恩納村ばかりでなく全国的な傾向となっています。

